



徳島文理中学校 徳島文理高等学校



入学案内・要項 2025

Tokushima BUNRI
Junior High School / Senior High School



“人として世界の前に立つ時ぞ”

品位と知性を磨く教育環境だから

互いに高めあう生徒たちだから

夢実現をサポートする教職員チームだから

— こんな文理を私は選んだ —

建学の精神「自立協同」 支え合う学習集団

教育方針

- ・進学指導を中核とした人間形成
- ・21世紀をリードする国際人の育成
- ・品位と知性に富む豊かな人間性の育成

文理スタイルで “夢を育てた文理生”



文理での日々に感謝

東京大学 理科Ⅲ類
高橋 愛佳 (令和6年3月卒業)

文理での中高6年間は非常に充実していて、かけがえのない日々でした。私は、文理のおかげで人として成長しながら、第一志望大学に合格することができました。

文理では、様々な思い出ができました。楽しかった体育祭や文化祭、研修旅行では、協力や結束力の大切さを学びながら、仲間との絆を深めることができました。多岐に渡る講演会や合格者座談会への参加は、自分の視野を広げてくれて進路選択にも大きな影響を受けました。

文理の先取り学習は、効率良くカリキュラムが組まれており、おかげで毎月のテストで勉強のペースを保ちながら、確かな学力を身に付けることができました。高2までに高校課程の学習を終了することで、高3の1年間を自分の志望校に合わせて受験に備えることができました。また、自習室は資料が豊富で環境も良く、毎日集中して勉強できました。何より、文理の経験豊富な先生方はとても熱心で、生徒に合わせて最適な授業や個別指導をしてくださいました。先生方には親身になって色々相談に乗っていただき、不安な時には励ましてくださったおかげで、安心して受験に臨むことができました。

文理で過ごした有意義な学生生活は、これからの人生に活き続けると思います。温かいご指導をいただいた先生方、楽しい時間を一緒に過ごした友人に心から感謝しています。

文理で本当に良かったです。



文理だからこそ

東京大学 理科Ⅱ類
鶴岡 紗弥 (令和6年3月卒業)

私は、徳島文理中高で6年間学び、この春、第一志望の東京大学理科Ⅱ類に合格することができました。合格することができたのは、文理のおかげだと確信しています。

まず、文理は勉強するための環境が整っています。自学道場やブース、進学指導室など、勉強しやすい設備や制度があり、長い時間勉強するのが苦手だった私でも、十分な学習時間をとることができるようになりました。特に、最終学年で利用できるブースでは、友人の勉強する姿に刺激を受け、自分を鼓舞することができました。

また、文理の先生方のサポートも、私が合格できた大きな理由です。文理の先生方に出会っていなければ合格できなかったといっても過言ではないほど、文理の先生方は素晴らしいです。一人一人の性格や得意不得意に合わせ、的確な進路指導をしてくださったり、質問すると理解できるまでとことん教えてくださったりと、普通ではありえないほど手厚くご指導いただきました。そのうえ、廊下ですれ違おうと声をかけてくれるなど、メンタル面でもたくさん支えていただき、受験を乗り切ることができました。

文理だからこそ、東京大学現役合格という大きな夢はかなえられたのだと、心から思います。文理で出会い、私を支えてくださったすべての方々感謝しています。本当にありがとうございました。

私の
選択

文理で夢を叶える!



令和6(2024)年度入試の合格実績 (卒業生111名)

国公立大学		徳島大学 (医・医9)	17	東北医科薬科大学(医)	1	明治大学	6	神戸女学院大学	1
北海道大学	1	香川大学(医1)	2	埼玉医科大学	1	立教大学	6	神戸薬科大学	3
茨城大学	1	愛媛大学	1	青山学院大学	4	早稲田大学	10	兵庫医科大学	2
筑波大学	1	高知大学(医)	1	北里大学	2	藤田医科大学(医2)	3	川崎医科大学(医2)	2
東京大学	2	九州大学	3	慶應義塾大学(医)	1	愛知医科大学(医)	1	久留米大学(医)	1
横浜国立大学	1	長崎大学	2	順天堂大学	1	京都薬科大学	2	私立その他	44
新潟大学(医)	1	高崎経済大学	1	上智大学	2	同志社大学	9	合計	178
愛知教育大学	1	和歌山県立医科大学	1	昭和大学	1	立命館大学	9	大 学 校	
大阪大学	1	高知工科大学	1	中央大学	2	龍谷大学	2	防衛大学校	1
神戸大学(医1)	2	合計	46	東海大学(医)	1	大阪医科薬科大学	2	防衛医科大学校(医)	1
奈良女子大学	2	私立大学		東京理科大学	5	関西大学	4	総 計 226	
鳥取大学(医)	1	徳島文理大学(薬6)	9	日本大学	6	関西医科大学(医3)	3		
岡山大学(医1)	3			日本体育大学	1	近畿大学(医2)	18		
				法政大学	5	関西学院大学	9		

2024.4.24 現在

東大・京大、国公立大医学科そして、難関私立大など
行くべき大学に行く！ 行ける！

挑戦！未来の世界の夢へ！

POINT 東大理Ⅲ 2年連続等難関国公立大に強い！

東京大理Ⅲは、過去10年で6名が合格

東大2名(理Ⅱ:1・理Ⅲ:1)・北大1名・阪大1名・九大3名

POINT 医学科33名 医学科に強い！

東大理Ⅲ:1・徳大医9など国立医学科15名(現役13名)

慶應大医など私立医学科17名、防衛医科大1名

2024年国公立大医学科 (「サンデー毎日」2024.4.28号)

現役合格者占有率 全国12位!!

POINT 早慶等難関私大にも強い！

早慶上理18名・MARCH23名・関関同立31名

難関大学合格数 過去10年間

東京大学 (理Ⅲ・医学科:6)	14
京都大学 (医学科:3)	17
大阪大学	23
北海道大学・東北大学	9
名古屋大学	3
九州大学	11
国公立大学医学科 (徳島大医学科:83)	162
私立大学医学科	126
徳島文理大学	165
早稲田大学	122
慶應義塾大学	47

※外進生(過去14年間148名)の進路
東大2、京大1、阪大6、北大1、九大3
国公立大医学科25(内徳大15)16.9%、国立大75 51%



国公立とは
ココが
違う！

私立中高6年一貫 文理

新教育課程 対応

「大学入学共通テスト」は導入4年目の昨年度、全体としてはやや易化したものの、問題文はより長く複雑になるなど、これまで以上に読解力が求められる傾向に変わりありません。また、知識の量に加えて、それらを活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力が、よりいっそう求められるようになりました。

主体的・対話的で深い学びをめざす新高等学校学習指導要領もスタートしました。「情報Ⅰ」が新たに共通テストに加えられることになりました。大学ごとの二次試験も出題傾向が大きく変わることが予想されます。

中高6年一貫文理スタイルでは、これまでどおり先取り学習によって、高3の最後の1年間は共通テスト対策や各大学の二次試験に向けた最適学習ができます。ココが国公立との大きな違いです。

文理だからできる 大学新入試への対応力が違います

ココが違う！
Point
1

充実した中高6年一貫独自カリキュラムは、計画的・継続的な先取り学習ができるだけでなく、その内容・指導法が違います。

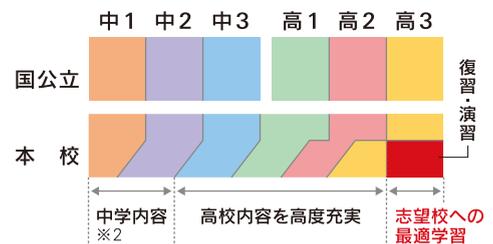
ゆとりある授業時数

中学1・2年の2年間で、国公立中学3年間より多い授業時数を確保し、ゆとりをもって中学内容を学習し、一人ひとりの豊かな潜在力を伸ばします。一人ひとりができるまで、そしてできるまで最高の教師陣が寄り添います。中学3年間では、国公立中学より国英数では630時間も多い授業時数となります。

国公立中と文理中の授業時数の比較



学習進度



※1…上記は標準時数であり、本校の実際の年間授業数はこれよりも多く確保されています。

※2…例えば中学1・2年の英語では教科書に加えて、全国の私立中高6年一貫校と同じ教材「プログレス」を使用しています。



教科書のそのうえに

中学1・2年の英語では教科書に加えて全国の私立中高6年一貫校と同じ教材「プログレス」を使用しています。英検3級は中3までに全員取得をめざします。英検2級は高3までに全員取得をめざします(2023年度在学3名が1級取得)。数学も体系数学問題集発展編まで学習します。

スタイルだからできる！

ココが違う！
Point
2

中3から高2の3年間で、経験豊かな教師陣が一人ひとりに高校内容を基礎からじっくりと時間をかけて、充実した指導をします。進路に応じた、きめ細かい高度な指導です。高3の最後の1年間は志望校に向けた最適学習ができます。

私立中高6年一貫文理スタイルだから
新傾向の問題に対応できる

「大学入学共通テスト」や各大学の二次試験の出題傾向が大きく変わり、読解力・思考力・判断力・表現力がよりいっそう求められます。これまで以上に高3の1年間の志望校に向けた最適学習が、ますます真価を発揮します。国公・私立大の文系・理系はもちろん、東大・京大等最難関大の2次試験まで対応しています。

◎ 中高6年間を見通した一人ひとりを生かす教育計画

学年	発展段階	クラス編制		特徴		
中1	基礎期	均等割クラス編制		<ul style="list-style-type: none"> 学習習慣の定着 授業内容（中1～中2） 		
中2	基礎充実期	習熟度別クラス編制		<ul style="list-style-type: none"> 習熟度に応じた指導 授業内容（中2～中3） 		
		発展クラス	応用クラス			
中3	充実期	発展クラス	応用クラス	<ul style="list-style-type: none"> 大学・学部研究 授業内容（高1） 		
高1	充実期	発展クラス	応用クラス (内進生・外進生)	<ul style="list-style-type: none"> 大学オープンキャンパスに参加 授業内容（高2） ※外進生：進度に応じた指導 		
高2	発展期	文系	理系	<ul style="list-style-type: none"> 本格的な受験勉強 授業内容（高3） 進路・習熟度に応じた指導（文系・理系） 		
	応用期	発展	応用			
高3	志望校に応じた最適学習（コース制）		進路・習熟度別授業（自由選択制）			
	私立難関大 文系コース	私立難関大 理系コース	国公立大 文系コース	国公立大 理系コース	国公立難関大 文系コース	国公立難関大 理系コース
	英国社 32時間(週)	数英理 29時間(週)	共通テスト対策重視		難関大2次試験対策重視	

志望大学・学部 合格

国公立とは
ココが
違う！

私立中高6年一貫 文理

一人ひとりの
高い志や夢を
かたちにします

支え合い教え合う
切磋琢磨の場を
つくりま

生徒の夢が学校の夢。生徒の夢を大きく育て、夢の実現を全力で支援すること、一人ひとりの夢の実現が学校の願いです。同じ志をもつ生徒どうしが励まし合い、切磋琢磨しながら全員で第一志望合格という共通の目標に向かいます。「第一志望はゆずれない」「行ける大学ではなく、行きたい大学を母校にする」が合言葉です。教員の経験に裏打ちされたアドバイスと、OB・OGの大学生が勉強法や各大学の特色、大学での生活について詳しく語ってくれる大学別合格者座談会や各種講演会、特設スーパー講座、最先端で活躍するOB・OGが仕事について語ってくれるキャリア教育プログラムなどを通して夢を大きく育てます。

卒業後も固い絆で結ばれた各界で活躍する先輩をはじめとする、チーム文理が一人ひとりの夢や志を全力で応援し、「探究し学ぶ心 挑戦し達成する力」を培います。これが、文理スタイルなのです。

文理だからできる 仲間と協働する力を育みます

学校行事でも思いっきり楽しみ、仲間と助け合い頑張りながら目標を達成します。勉強も「第一志望はゆずれない」「行ける大学ではなく、行きたい大学を母校にする」を目標に、同じ志をもつ者どうしが仲間として教え合い支え合います。

ココが違う！
Point
1

スーパースタディ (S.S) と自学道場 (自主学习ホール・ブース) で合格力をつけ協働する力を育みます。

■ スーパースタディでは、生徒が先生として互いに得意分野を教え合います。「自立協同」を具現化した文理スタイルです。また、自学道場 (ホール・ブース) では、自主学习をしますが、低学年ではサポートスタディで教師がサポートします。

■ ホール・進学資料室のブースでは、静かに自習することができます。平日は19時まで、日曜・祝日も17時まで開放しています。



ココが違う！
Point
2

『文理小論』で課題を発見して解決する力、思考力や表現する力を養います。

■ 中3～高3生に様々な分野からのテーマを出題。生徒は自ら選んだテーマについて自身の考えを小論文として表現します。各学年の優秀作品を集めた小論文作品集が『文理小論』です (2023年で第29号まで発刊)。



ココが違う！
Point
3

人気の特設スーパー講座が合格力を側面から支えます。

■ 駿台予備学校・代々木ゼミナール講師による英・国・数3教科の特設スーパー講座。最新の大学入試を分析し、わかりやすく講義します。



スタイルだからできる!

文理だからできる 世界の人びとの夢を叶える人材を育成します

東大・京大、医学科などの難関大学に多くの生徒を送るというだけでは、喜びは半分にすぎません。合格の達成や希望する仕事に就くことはゴールではありません。時代とその先が求める志と豊かな心を持ち、物事の本質をとらえ、世界や日本、地元徳島の課題解決の先頭に立ち、どんな困難なことにも立ち向かい、人びとが待ち望む夢を叶え、人のために尽くせるリーダーを育てます。

キャリア教育プログラム

ココが違う!
Point
1

各界の最先端で活躍する人びとや OB・OG が仕事について語ってくれます。

総合学習「探究」

「国際理解教育」(中3対象)

海外協力隊員として現地で活動した方々から各国の現状・課題等について講演いただき考える学習を行いました。

「職業研究プレゼン発表大会」

(高2対象)

就きたい職業について各自で研究し、その成果を学年発表会でプレゼンし、質疑応答します。



各界トップを招いての講演会 (全校生対象)

2023年は徳島大学 消化器・移植外科の西 正暁先輩による「最新の外科医療と、その未来」の創立記念講演会を行いました。

「キャリア教育」(高1・高2対象)

各分野で活躍する人や OB・OG、最先端研究者による講演が未知の扉を開けてくれます。



ココが違う!
Point
2

合格体験報告会・座談会や夏の大学見学&進学セミナーで、先輩大学生が大学での生活を語ってくれます。

合格体験報告会(3月)・大学別合格者座談会(8月)

合格したばかりの先輩大学生が生々しい合格体験や勉強法、大学生活について詳しく教えてください。



夏の大学見学&進学セミナー

東京方面と関西方面の2コースで実施。東京コースでは東大や慶應大等で OB・OG が学内を案内し、各学部の特徴・進路についての説明をします。また、駿台予備学校講師による進学セミナーも受講します。



勉強法や各大学の特色なども詳しく聞けます

ココが違う!
Point
3

活躍する先輩に出会い、世界が広がっていきます。

東京研修・先輩によるプレゼンと職場訪問(高1)

活躍する OB・OG の職場、企業・省庁・研究機関などを訪問します。夜には東京で活躍する OB・OG が駆けつけてくれ、様々な仕事や職場についてプレゼンしてくれます。丸紅・住友商事・ピクシブ・朝日新聞・国土交通省・外務省・法務省などを訪れています。



教職員チームの願いは一つ 生徒の成長が私たちの喜びです。



達成感が得られる授業、よくわかる授業、楽しい授業を通して、生徒の自己肯定感を育みます。
自分の力を信じ、夢に向かって頑張る生徒を全力でサポートします。「文理でよかった！」この一言が私たち教職員の原動力です。



立石 有礎 先生 (担当：国語)

中高一貫校で勤務することの魅力は、一番変化が著しい思春期の生徒の成長を見守ることができることです。新入生の頃、自我に目覚め始める中学生の頃、そして、良きライバルに出会い切磋琢磨し見違えるような変貌を遂げる高校生の頃、折り折りに生徒は様々な表情を見せてくれます。授業の中で、宿泊を伴う研修の中で、様々な学校行事の中で、そして、休み時間や昼休み、放課後などの生徒の何気ない言動に、ハッと心打たれる瞬間があります。そんなときこそが、「こんな行動がとれるようになったんだ」、「これほど相手を気遣う発言ができるようになったんだ」と胸が熱くなると共に、喜びに包まれる幸せ時間です。



高松 仁志 先生 (担当：英語)

人々は「世界の人々と会話するための道具として英語が必要だ」とか、「大学受験の科目に英語があるのだ」と言うかもしれません。それであれば、『ほんやくこんやく』さえあれば、いとも簡単に解決されます。そしてその技術は、スマホのアプリなどにすでに存在します。では英語を勉強するのはなぜでしょうか。私は「英語を母国語とする人々の思考形態を知るために英語を習得するのだ」と考えています。言語の成り立ちは、その国の文化や宗教、生活習慣が色濃く表れています。どの順番でどんな単語が出てくるのかは、その国の人々の頭の中が表現されているからです。英語を英語として理解する授業をお楽しみください。



岡田 光弘 先生 (担当：数学)

数学は問題が解けたときに、喜びや達成感が味わえる教科です。生徒が授業中に「分かった」「解ける」と感じているときの楽しそうな表情や集中力がとても好きで、日々分かりやすい授業を心がけています。また、生徒の知的好奇心も高いことから、教科書の内容を超えた学術的な話や他教科とのつながり、数学史の話題などを適宜取り入れ、数学の美しさや楽しさも伝えています。

受験から逆算した無駄のない授業計画のもと先取り学習も行っています。希望者には添削指導を行っており、生徒に合わせたオリジナル教材も作成しています。

手間をかけるほど、生徒の力も伸びるのでやりがいを感じています。



各種コンクール受賞 (2023年度)

生徒の長所を伸ばす学びの成果が、毎年全国的に高く評価されています。

■第94回徳島県陸上競技選手権大会

・女子400m / 優勝

■四国高校新人陸上競技大会

・女子200m / 優勝

■徳島県高校総体 テニス競技

・男子シングルス / 第2位

・インターハイ出場

■徳島県高校新人テニス大会

・男子個人 / 第3位 ・四国大会出場

■徳島県中学校テニス新人大会

・男子団体 / 第3位 ・四国大会出場

■徳島県中学校総体 剣道競技

・男子個人 / 優勝 ・全国大会出場

■徳島県高校総体 剣道競技

・男子個人 / 第8位 ・四国総体出場

■第57回徳島県高校剣道選手権大会

・男子個人 / 第3位 ・四国大会出場

■令和5年度中部ブロック中学新人剣道大会

・高校女子団体 / 優勝

■第9回四国中学校新人剣道大会 準優勝

■第71回徳島県中学校男子ソフトボール選手権大会

・優勝

■第63回徳島県中学校ソフトボール新人大会

・準優勝

■徳島県高校総体 フェンシング競技

・男子団体フルール / 優勝

・男女個人フルール・エペ / 優勝

・インターハイ出場

■第3回徳島県中学生フェンシング大会

・男女個人フルール・女子個人エペ・男子個人サーブル / 優勝

■第34回中四国少年フェンシング大会

・中学男女 / 第3位

・ジュニアオリンピックカップ出場

■第3回徳島県高校新人フェンシング選手権大会

・男子フルール・男女サーブル / 優勝

・女子フルール・エペ / 優勝 (2連覇)

■第3回徳島県中学新人フェンシング大会

・男女団体フルール・男子 / 優勝

・女子個人フルール / 優勝

■第48回全国高校選抜フェンシング大会

(四国地区予選会)

・女子団体フルール / 優勝

・女子団体エペ・男子団体フルール / 第2位

・全国選抜大会出場

■第48回全国高校選抜フェンシング大会

・女子学校対抗フルール / ベスト8

■高円宮杯 U15 サッカーリーグ 2023

・徳島県リーグ後期 Diu3D / 第2位

■令和5年度中部ブロック新人サッカー大会

・優勝

■国民体育大会ボウリング競技 第43回

四国ブロック大会

・少年男子 個人 / 優勝 団体 / 第2位

■第47回全日本高校ボウリング選手権大会

・男子個人 / 第3位

■特別国民体育大会 ボウリング

・少年男子団体 / 第4位

■第8回書道創作グランプリ

・中学グランプリ

■第74回書初め書道展覧会

・中学 / 特選 ・高校 / 特選

■第44回学校茶道エッセイ

・佳作・学校賞

■科学の甲子園ジュニア全国大会

・実技競技 / 優勝

■第15回徳島県新聞感想文コンクール

・優秀賞・学校賞

■数学オリンピック地区予選 優秀賞

■私たちの国消産川柳コンテスト 優秀賞

■第76回二紀展 入選

■第47回全国高等学校総文祭

〈将棋部門 徳島県予選〉

・女子団体 / 優勝 ・個人 / 準優勝

・全国大会出場

■徳島県高校総文祭 将棋部門

・女子団体 / 優勝 ・個人 / 優勝

■第43回近畿高校総文祭 将棋部門

・女子団体 第3位

■藍青賞

運動競技 (ボウリング)

研究活動 (科学の甲子園ジュニア全国大会、寺子屋プロジェクト、国消産川柳)

充実の学校行事

4
April

入学式
始業式・対面式
オリエンテーション
体育祭

5
May

生徒会役員選挙
保護者会総会
生徒総会

6
June

徳島県高校総体
徳島市総体（中学校）
海洋研修（中1）阿南YMCA
最初はおぼつかなかったオー
ルさばきも、コツを飲みこめ
ばスーイスイです。

球技大会（理事長杯）
バレーボールやソフトボール
で学級毎に火花を散らす熱い
戦いが繰り広げられます。

7
July

オープンスクール
徳島県中学総体
終業式
オーストラリア海外語学
研修（中3）
アボリジニの歴史や文化も学
びます。

8
August

大学見学・進学セミナー
〈東京・関西〉（中3～高2）
東京方面、関西方面に分かれ
て、自分のめざす大学を訪問
します。本校卒業生による大
学案内が実施されます。

大学別合格者座談会
文化祭
趣向を凝らした模擬店や演劇は
毎回好評を博しています。

9
September

始業式
広島研修（中2）
平和学習では原爆資料館や袋
井小学校を見学します。また、
宮島では厳島神社の荘厳さに
触れるとともに手作り体験な
ども行います。
東京研修（高1）
班別研修では、企業や外務省・法
務省などの官庁を訪問します。
人権講演会

1学期



卒業式（3月）



入学式（4月）



入学式（4月）

◎ 学年毎の特色ある研修旅行



中学1年生 海洋研修（1泊2日）



中学2年生 広島研修（1泊2日）



中学3年生 スキー研修（3泊4日）



高校1年生 東京研修（3泊4日）



体育祭 (4月)



体育祭 (4月)



文化祭 (8月)



東京研修 (大学見学)



ユネスコ活動



各種作文の受賞

● オーストラリア海外語学研修



グローバル社会で世界を舞台に活躍することを願って、中学3年生を対象に海外語学研修を実施しています。二人一家庭のホームステイをベースに、本校生のための特設授業、現地の生徒と一緒に受ける授業、楽しい各種アクティビティなど、魅力的なプログラムになっています。特に、ホストファミリーや現地の生徒との温かい交流が忘れられない思い出となります。

【募集人数】 20～40名程度

【研修地】 オーストラリア・シドニー

【研修期間】 7月下旬～8月中旬
(15日間)

2学期

10
October

保護者会中学部会
携帯マナー教室 (中1)
キャリア教育 (高1・高2)
防災訓練
英語検定
文理杯争奪剣道大会

11
November

保護者会高校部会
人権弁論大会
身近な生活の中にある人権問題について全校生徒に訴え、共に考えることを通して、よりよい社会の実現をめざします。
進学講演会 (高1・高2、保護者)
最前線の受験情報に接し、進学へのモチベーションを高めます。
創立記念各界トップ講演会

12
December

音楽鑑賞会 (中1)
文理大学での本格的な演奏会は情操を養い、音楽の授業で学んだ楽器の音色に浸る良い機会です。
終業式

1
January

3学期

始業式
共通テスト激励会
数学オリンピック

本校が予選会場となり、多くの生徒が受検します。難問に取り組んで解けた時の喜びは得がたいものです。

スキー研修 (中3) 長野県
初心者も上級者もそれぞれのレベルにあわせて教えてもらえるので、最終日には全員山頂から滑ることができます。

2
February

美術鑑賞 (中1)
大塚国際美術館で世界の名画を鑑賞します。構図や画家のねらい等を知ると、絵画を見る楽しさも倍増してきます。
社会見学 (中2)

3
March

卒業式
球技大会
合格体験報告会

先輩から受験勉強のアドバイスをもらえる貴重な機会です。真剣に話を聞き、自分の勉強方法に取り入れていきます。

終業式

文理の 一日



8:40～8:50 総合学習

ページをめくる音だけが響く静謐な時間。本の世界が豊かな心を育てます。



11:00～ 授業

授業はいつも真剣勝負。知識の習得・定着が格段に飛躍してきています。



8:00頃 登校

友だちに会うのが待ち遠しい。今日も楽しい一日が始まります。



9:00～ 授業

実験や実習が生徒の主体性を育み、わかる喜びを育みます。



どのメニューも美味しいから
会話も弾んでくるよね！

12:50～ 昼食

食堂では、弁当を持参する生徒、食堂の豊富なメニューの中から選ぶ生徒など様々です。各種デザートも人気です。

校時表

総合学習	8:40～8:50
S H R	8:50～9:00
第1限	9:00～9:50
第2限	10:00～10:50
第3限	11:00～11:50
第4限	12:00～12:50
昼食	
第5限	13:30～14:20
第6限	14:30～15:20
第7限	15:30～16:20

中学1年生のクラス 時間割(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	総合学習	総合学習	総合学習	総合学習	総合学習	総合学習
1	保健体育	保健体育	英語α	社会	英語α	国語
2	代数	国語	理科Ⅱ	英語α	英語β	英語β
3	国語	英語β	国語	国語	音楽	幾何
4	社会	代数	道徳	家庭	社会	代数
5	理科Ⅱ	理科Ⅰ	社会	技術	書道	
6	幾何	美術	理科Ⅱ	保健体育	理科Ⅰ	
7	総合学習				学級活動	

高校1年生のクラス 時間割(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	総合学習	総合学習	総合学習	総合学習	総合学習	総合学習
1	古典探究	言語文化	物理基礎	保健体育	英コミ	英コミ
2	英コミ	生物基礎	数学Ⅰ	数学A	言語文化	数学Ⅰ
3	数学A	歴史総合	生物基礎	芸術	数学Ⅰ	地理総合
4	保健体育	現国	英コミ	現国	保健体育	歴史総合
5	論理表現	数学A	論理表現	地理総合	現国	
6	物理基礎	化学基礎	情報Ⅰ	情報Ⅰ	論理表現	
7	総合学習		化学基礎		L H R	

※第7限…中学校では月曜日と金曜日に、高校では月曜日・水曜日・金曜日にあります。また、土曜日は第4限までです。



13:30 ~ 授業

一点一画に集中して筆を進めます。思考力や創造力もUP!



14:30 ~ 授業

ITを活用した授業も楽しく取り組んでいます。



15:45 ~ 放課後

疑問に思ったことは、その日のうちに質問します。



~ 13:30 昼休み

約3万冊の蔵書を誇る図書館。本の世界に浸る豊かな時間が人間性を育みます。



15:30 ~ 清掃

清掃は心磨きの時間です。ピカピカになった教室は気持ちいい!



16:00頃 部活

茶道の作法を身につけると共に、自分自身とも向き合う大切な時間です。

■ 講師を招いた特別授業 多彩な講師の授業も魅力の一つ。



東大授業



防災講演会



特設スーパー講座

■ やる気を引き出す授業と放課後の個別指導 わかる喜びを知った生徒は、どんどん伸びていく。



活躍する部活動・同好会

文理中高は、頑張る部活・楽しむ部活ともにさか全国規模で活躍しながら、勉強と部活動のみごと



フェンシング部



剣道部



バスケットボール部



家庭科部



陸上競技部

1 剣道部 中学・高校とも県下ナンバーワンの実績

剣道部は創部以来「文武不岐」の部訓の下、剣道と勉学に真剣に取り組むことにより人間形成を行うことを目的に活動しています。中学部においては全国大会準優勝、高校部においては四国大会優勝という県下ナンバーワンの実績があります。実力・人格ともに素晴らしい2名の指導者とともに、短時間の練習で汗を流し、全国大会出場を目指し活動しています。

2 ソフトボール部 和気藹々と勝負する

ソフトボール部では中学生と高校生が共に活動し、試合形式の練習をよく行っています。もちろん公式戦での勝利は嬉しいですが、部内の紅白戦で活躍することとても楽しいです。月曜日から土曜日の放課後、自由参加で集まったメンバーでその時の状況に応じた練習メニューを先生と話し合ってこなしていくためなかなか飽きることがありません。時には激しく、時には緩く、この臨機応変さがソフトボール部の良さの一つです。

3 吹奏楽部 美しいハーモニーをかなでる

吹奏楽部は中学生・高校生がともに活動しながら、クラシックからポップスまで幅広い曲を演奏しています。新入生は先輩を目標に、上級生は手本となって互いに高め合っています。先生方や徳島文理大学音楽学部の学生さんなど多くの方々から指導を受けているのも魅力です。音楽の楽しさを味わうのはもちろん、積極的に意見したり教え合ったりと、みんなで成長していています。

4 フェンシング部 騎士道精神で文武両道を目指します！

創部6年目となり、中学生28名、高校生16名が在籍しています。2024年3月に島原市で開催された全国高校選抜大会では、男女団体フルーレと女子団体エペが出演し、女子エペはベスト16、女子フルーレはベスト8と、全国的にも強豪校の仲間入りを果たしました。週4日1回2時間半という少ない練習で成果を上げるには、部員のそれぞれが自分で考え、効果があると信じていることができる練習をしなければなりません。入部した時には難しくても、一生懸命に取り組んで結果を出している先輩たちと共に生活することで、成長していくことができます。この能力は大学受験の戦場でも必要です。また体力も必要ですから、教室では養うことができない部分をフェンシング部で鍛えていきます。文武両道を成し遂げている一流の世界を体験してみませんか？

5 サッカー部 技術だけでなく人間力の向上

サッカー部は「誰からも応援されるチーム」を目指して、学業とサッカーに全力で取り組んでいます。2023年度中部ブロック中学校新人サッカー大会では初優勝し、高円宮杯U-15サッカーリーグ2024徳島県リーグ前期Div.2Aで優勝しました。週末の試合で課題を見つけ、放課後に短時間で効率の良い練習を行っていることが一番の特徴です。今年、グラウンドに照明を設置していただき、冬場の日の入りが早い時期でも安全にボールを使った練習ができています。県外遠征や他校との合同練習などの活動を通してサッカーの技術はもちろんのこと、技術以外にも多くのことを学んでいます。部員一人ひとりがやりがいを見つけ、努力し続ける文理サッカー部で共に頑張っていきましょう。

んです。剣道・陸上・フェンシング・ディベート・郷土研究・将棋部のように
に両立させている人も少なくありません。



部員からのひとこと

演劇同好会 — 客席と一体になる達成感を味わう —

高校2年 田村祐也

演劇同好会は、令和6年度に新しく生まれた同好会です。体育館ステージにて、ほぼ毎日発声練習や早口言葉に取り組んでいます。本年度は、6月の「文化の森演劇フェスティバル」、11月の「徳島県高校総合文化祭・演劇部門」にて上演の予定です。まだまだ未熟ですが、ぜひ会場に足を運び、私たちの公演をご覧ください。よろしくお願いします。

ディベート部 — 議論する力を培う —

高校2年 宇山 泉

ディベート部では毎年、夏にある「全国ディベート甲子園」に向けて活動しています。近年はコロナ禍ということもあり Zoom にてオンライン開催されていますが、以前は対面で行われていました。一昨年は中学校からディベートを始めたメンバーで、中四国ブロックを突破し、「ディベート甲子園」へと進みました。過去には全国大会で3位という優秀な成績をおさめたこともあります。一つの論点を様々な角度から考察し、メリットとデメリットを組み立てることで、説得力のある文章の組み立て方や論理的な思考を身につけられます。私たちと一緒に議論を深めてみませんか。

茶道部 — 伝統文化を学び国際交流を行う —

高校2年 豊田紗良

茶道部では、毎年、「学校茶道エッセイ」に応募し、部員自らが茶道で学んだことや目標などを作文にしています。令和5年度「第40回学校茶道エッセイ」におきましては、全国で三校に贈られた栄誉ある学校賞をいただき、表彰状と記念品のお茶碗をお家様より拝受しました。先輩方の伝統を引き継ぎ、さらなる飛躍に繋げていこうと茶道部員一同決意を新たにしているところです。令和6年2月には、モンゴルから教育視察団の方々をお迎えし、部員たちが徳島の和三盆糖を使い、手作りしたお干菓子「鳴門の渦」を添え、おもてなしました。言語や文化は違いましたが、茶道という伝統ある日本文化を通じて、たいへん喜んでいただけたと思っております。茶道部の行事にしましては、校内文化祭でのお呈茶や徳島県高等学校総合文化祭をはじめ、外部のお茶会にも参加しています。また、茶道文化検定を受検し、茶道の理解を深めております。私たち茶道部は、部活動を通して、日本文化に触れ、学んだことを日常生活に取り入れ、豊かな人間性を育てています。これからも茶道の素晴らしさを皆さんに知っていただけるよう、日々精進してまいります。

2024年度 部活動・同好会 一覧表

● 体育系	陸上競技
	サッカー
	ソフトボール
	バスケットボール
	女子バレーボール
	バドミントン
	卓球
	剣道
	硬式テニス
	フェンシング
● 文化系	ディベート
	囲碁・将棋
	文芸
	写真
	郷土研究
	美術
	放送
	書道
	化学
	国際文化研究 (ISC)
	音楽
	生物観察
	吹奏楽
数学研究	
鉄道研究	
家庭科	
茶道	
競技かるた	
数理研究	
演劇同好会	

※上記以外の活動についても、対外試合に出場できるように配慮しています。

生徒の安全・安心と快適 そしてエコロジー



ICT 機器の活用

各教室にプロジェクターを設置し、タブレットを必要数購入して、ICT 機器の積極的な活用に取り組んでいます。



太陽光発電や耐震性・快適性

本館屋上の太陽光パネル（左）と玄関横の発電表示（右上）
地球環境への配慮と不意の災害にも強い耐震性を完備しています。また、温水洗浄便座も整備されています。



お茶室（一珠庵）

一珠庵（左）と千宗室お家元の揮毫（右）
平成 22 年に裏千家千宗室お家元をお招きし、一珠庵（茶室）の扁額除幕・茶室披き・お家元の講演が行われました。これらも豊かな人間性を育てる情操教育の一環です。



スーパースタディーと自学室

自習用のブース席があり、また各大学の入試問題集をすぐ手に取れる書棚がそなえられています。



環境に配慮した安全・安心な施設・設備のもと、生徒は快適な学園生活を送っています。
緊急避難場所でもある建物には、全員分の食料と飲料水が備蓄（3日分）されています。



図書室



食堂



トレーニング場



美術室



書道室



化学室



※保護者会総会
当日の様子

グラウンド

卒業生からの Message

文理中高で得たこと、社会に出て思うこと。



未来へつながる第一歩

徳島大学 消化器・移植外科

西 正暁さん
平成9年度卒

徳島大学医学部を卒業し、現在は徳島大学病院で胃癌や大腸癌に対する腹腔鏡・ロボット手術に従事しています。日々、手術をする中で思うことは準備の重要性です。知識や技術に加え、手術前に限界まで準備をすることが安全で質の高い手術につながると考えています。

文理中高の6年間は将来にむけての大切な準備期間であり、最適な環境が整っています。

私にとっても文理中高がその後の大学生活・医師人生の礎となりました。全力で学び、遊び、挑戦し、かけがえのない友人達と切磋琢磨し、大きく羽ばたいてください。



かけがえのない宝物

ユニゾン・キャピタル株式会社
代表取締役

林 竜也さん
昭和61年度卒

東京大学法学部を卒業後、英語もできず金融の知識もないまま当時日本で新卒採用を始めたばかりの米系証券会社に就職しました。その後、当時日本で存在していなかったプライベート・エクイティ投資の会社を仲間と起業し、今年で25年目になります。

高く跳躍するには強固な足場が不可欠。縁あって特進コースの1期生となり、少年ジャンプだけを心の頼りに勉強漬けで過ごした寮生活。文理高校での濃密な3年間は、今も付き合える友人を得て、初めてだからこそ面白いと挑戦を重ねるその後の自分の確かな礎となった、かけがえのない宝物です。



困難な道を選択する

京都大学大学院
医学研究科
博士課程

山城 春華さん
平成18年度卒

私は京都大学医学部を卒業後、6年間診療に従事したのち、京都大学大学院に進学しました。現在、iPS細胞を用いた研究に取り組み、専門である肺の疾患の病態解明や再生医療の実現を目指しています。思えば、中高時代の恩師の「道が分かれて迷った時は難しい方の道を選びなさい」という言葉が人生の指針となっています。どんなに困難な道に見えても、自分の求めるものがあるなら挑戦し、達成するために努力・行動することが自分の成長に繋がると実感するからです。そして、挑戦する姿勢を共有できる志の高い友人に文理で出会い、勉強に遊びに全力投球した経験は、かけがえのないものです。



全ては文理から始まった

公認会計士・税理士
アクシスグループ代表
税理士法人アクシス代表社員

川人 広平さん
平成19年度卒

私は文理から東京大学経済学部に進学後、公認会計士・税理士の資格を取得し、現在は税理士・社労士・行政書士・コンサルなどからなるアクシスグループの代表をしています。その全ての原点が徳島文理にあります。本気で剣道に打ち込んだ青春時代、県下トップクラスの仲間達や先生方、スピーディな教育カリキュラムに支えられ、一生懸命勉強し志望校に合格した成功体験により自信が付き、「努力すること」自体が楽しくなりました。それが好循環の原点となり、その後の資格取得や企業経営に生きています。一生ものの「成功体験」を得られる環境が揃っています。本当に文理に通って良かったと思います。



努力を惜しまない

ピクシブ株式会社 執行役員
ピクシブプロダクション(株)
取締役副社長

東根 哲章さん
平成8年度卒

日本は最もチャンスがある国である。pixiv や前職の電通で海外の仕事もしてきたが、海外はもっと階級や学歴差があり、その差を埋められない。日本は個人の努力次第でなりたい人生に近づける。受験教育は一見無駄に思うこともあるが何もしないなら負けだ。論理的思考力や努力を継続できた経験など得るものも大きい。無駄だと思うなら海外の大学を目指すか、学歴を必要としない職を目指すのも良い。何もせずに中途半端に過ごすのが最悪だ。大学、就職と進むにつれて人生の選択肢は狭くなるので、今努力を惜しまないこと。好きなことを仕事にするために入るべき場所（大学）を目指す！妥協しない！



叶わない夢はない

外務省国際法局
国際法課 課長補佐

柏口 温子さん
平成14年度卒

みなさんは、10年後、20年後、どんな自分になっていたのだろうか。理想の自分、なりたい自分を想像したとき、仮に今は手が届かないように感じたとしても、頑張り続ける限り叶わない夢はない。努力していると、それまで雲の上と思っていた人と一緒に仕事をしたり、足を踏み入れることなどないと思っていた場所に何度も赴いたりということが次々起こる。自分が知らなかった世界がどんどん広がっていく。自分が果たす役割も大きくなる。

実に、人の可能性は無限大。さあ、わくわくする人生への扉を開こう！



卒業後こそ「自立協同」

知恵島皮膚科診療所 所長

原田 勝博さん
平成元年度卒

1990（平成2）年3月に高校を卒業し、現在は吉野川市で皮膚科医院を営んでいます。医師になって26年経ちましたが、細分化された現代医療の下では、自らの力だけではどうにもならないことが多々あります。幸いにも、文理出身の医師が増え、県内では、病院歩けば同窓生に当たると言っても過言ではないかもしれません。1年に1回「文理会」と銘打ち、文理出身者の医師が歓談する機会を設け、専門や年齢の垣根を越え、気軽に相談できる関係を築いています。同窓生に助けをもらう度に、「文理で良かったな」とつくづく思います。

卒業後も続いていく絆

卒業してからも生涯ずっと「文理でよかった」といえる学校でありたい。文理中高は世界や日本、徳島の課題に立ち向かうため、先頭に立ち課題を解決できるリーダーを育てる徳島で一番輝く学校でありたい。活躍する卒業生が本校を照らし、文理中高も卒業生も互いに照らし合う、そんな学校でありたいと願っています。

■ ホームカミング

2016年1月の「村崎学園創立120周年記念 徳島文理中学校・高等学校ホームカミング」には、本校を会場とした第一部とホテルを会場とした第二部に、合わせて1,000人近くの卒業生が集い絆を深め合いました。



ホームカミングで恩師と歓談する卒業生

* 2025年度に130周年記念ホームカミング開催予定。

保護者の声 「文理に入ってよかった」

入学して1年間を終えて

中学2年生 保護者

●何もかもが新鮮で楽しみにしながら通い始めた中学校ですが、早くも一年が経ちました。小学校と違いテストを受けるたびに自分の順位を知り、得意不得意も知って自分から進んで勉強の仕方を考えたりする事ができるようになり、子供の成長を感じました。授業参観の際には、高度な内容のように思えましたが、真剣な顔で興味深そうに先生のお話を聞いていたのが印象的でした。これからも自分の興味ある事にどんどん挑戦してほしいです。最後に先生、同級生と仲良く一年間を過ごし、良い思い出をたくさんつくってほしいと思っています。

●私は文理中高出身です。思い出がたくさん詰まった母校に娘も通うことができ、本当に嬉しく思います。「文理に通っていてよかった」私自身がそう思うことが何度もあったから、娘も通わせたいと思いました。そして通い始めてみると、より一層素晴らしい学校になっていることを知りました。生徒たちが創り上げる活気あふれる体育祭や文化祭。目標に向かって懸命に努力する生徒たちが集う自学道場。そして熱心に生徒たちに寄り添ってくださる素晴らしい先生方。難しい問題に直面したとき、先生に質問に行く！と張り切って登校していく娘の姿を見て、文理でよかったと感じています。一緒に切磋琢磨できる大切な友人もできました。この様な素晴らしい環境のもとで、あと5年間、将来の夢に向かって頑張っていってほしいです。

●娘が入学し、あっという間に一年が過ぎました。思えば去年のこの時期は、控えめな子だけれど学校の授業についていけるのだろうか、クラスには馴染めるのだろうか、など子供以上に神経質になっていたように思います。しかし、引っ込み思案と思っていた娘の周りには、文理小学校からの友人だけでなく、たくさんの新しい友人がいました。真剣に接してくれる担任の先生のおかげで、自発的に分からないことを質問に行けるようにもなりました。学校から帰って来ると新しい友人や先生たちの話を、楽しそうに語り、新しい教科も積極的に学習する様子を見ることができました。進度は明らかに速く、ついていくのも必死だったと思いますが、デイリーライフや面談による細やかなコミュニケーションがあり、また中高一貫ということもあり、先取りした学習内容を知識豊富な先生方に丁寧に教えていただけることは、文理だからこそ得難い環境だと実感しています。一年を終えて、一段と娘の成長が楽しみになりました。

●外部より入学して一年が経ちました。初めての自転車通学に初めての部活動、早い学習進度等、不安だらけのスタートでした。しかし、振り返ってみますと、学校を休みたい

と言ったことが一日もありませんでした。それは、担任の先生だけでなく、教科担当の先生方、部活顧問の先生方が常にチームとなり、学習面だけでなく学校生活全般の指導をして下さったおかげです。また、部活動でも文武両立されている先輩方を肌で感じることができ、憧れ、尊敬できる先輩方にたくさん出会うことができました。先取り学習だけでなく、反抗期を迎えた難しい時期の人間形成においても文理の中高一貫教育はとても魅力的です。この環境下で学べることに感謝しております。

●光陰矢の如し…とはこのことでしょうか。楽しい時間はあっという間に過ぎてゆきます。これは学校生活が一年を通して、親子共に充実した日々を送ることができた所以であり、先生方の多岐にわたるご指導、生徒の皆さんの活発で優しい人柄など、息子に関わる多くのことが素晴らしいものであったからこそ思っております。自習室の開放や、質問を快く受け入れてくださる先生方の存在は、子ども達が「勉強したい!!」と思った瞬間をしっかりと受け止めていただけた大変ありがたい環境であり、体育の授業や体育祭などスポーツも活発で、子ども達が心身共に健康に育っていける、バランス感覚に優れた学校であると心から実感した一年でした。

●息子は受験勉強を頑張っており、憧れの中学生生活を謳歌しております。私はこの一年間で中高一貫校のパワーを感じることができました。体育祭や文化祭での企画運営力は中学生だけではできないことを、高校生によって実現させます。この間まで小学生だった中1生は、先輩からの刺激に目を輝かせて、本当に美しい学生らしい姿を見せてくれます。この素直な姿勢も、自立協同の建学精神のもと豊かな保育を幼稚園で、人格形成と勉学の基礎を小学校で、そしてそのすべてを育んでくれた先生方が見守ってくださるなか、中学高等部へと進学した安心感と自信があるからこそ思っています。また高校受験がありませんので、中学生という心も体も急速に成長するアンバランスな時期を余裕をもって過ごせることも、息子の健全育成上、大変素晴らしいことと思っています。学業はもちろんですが部活動にも全力で励むことで、随分とたくましさも見受けられるようになりました。一貫教育の充実ぶりは大きな夢を形にする力となることでしょうか。息子よ！頑張れ!!先生方の懇切丁寧なご指導に心より感謝申し上げます。文理に入って良かったです。今度ともよろしく願い申し上げます。

●喜びと期待に胸膨らませ、文理小学校から進学して早一年。毎日笑顔で「いってきます!」と出かけ、「疲れたー!」と言いながらも、今日一日の出来事を楽しそうに話してくれる娘の様子から、期待以上に充実した楽しい学生生活を過ごしていると実感しております。熱心にご指導くださる先生方、わかりやすく面白い授業、共に助け合い切磋琢磨できる友だち、全力で取り組む魅力的な学校行事、優しい先輩方に囲まれて活躍する部活動…。この一年で多くの

事を経験し学んだ娘は、心身共に一段と成長しました。今はまだ自分の将来像がはっきりと描けていないようですが、このすばらしい環境の中で良い刺激を受けて、自分らしい目標を見つけて欲しいと願っています。

●「誰と同じクラスになるかなあ。」と不安気に入学式に行った1年前。今や、文理小学校からの友達はもちろんのこと、新しい友達もたくさんでき、毎日楽しそうに中学校に通っております。部活動では、やさしく丁寧に指導して下さる先輩方ばかりで、先輩方に大切にいただき感謝しております。そして、勉強を御指導くださる先生方の事が大好きで、先生にすぐに質問に行ったり、家ではしないお手伝いも先生のお手伝いなら進んでしていますようです。そんな娘の姿を見て、文理中学校でよかったとあらためて思っております。

3年間を終えて

高校1年生 保護者

●中学校に入学して、あっという間に三年が過ぎました。入学した頃は、まだコロナ禍で、学校の行事にも多くの制限がありましたが、徐々に解除され、中学3年ではスキー研修に行くこともできました。友達と楽しそうに過ごしている姿を見ることができて、本当にうれしく思っています。学習面では、中高一貫教育のため、公立では高校受験に割かれる中学3年の一年間が、高校内容の先取り学習に充てられており、大学受験に向けて、着実に進んでいるように感じられました。学習意欲の高い友達に囲まれている環境の中で、先生方の熱心なご指導を受けながら、レベルアップしてもらいたいと思っています。

●中学に入学して三年が過ぎました。はじめ延期・中止となっていた行事も始まり、体育祭、文化祭、広島研修旅行、スキー研修と体験できました。子供達には全て新鮮で充実したものとなりました。学習面では中高一貫の先取り教育のおかげで、3年生で校外模試を受けることができました。早期に模試を受けることは、全国での実力を知り、今後の勉強法を考えるよい機会となりました。4年生を迎え、これからは更に多くの友人、先生方の力を借りながら、受験の目標に向かって努力を続けて欲しいと思います。

●中学三年間はあっという間に過ぎていきました。「文理に入学してよかった」と心から思っています。中高一貫であるので高校受験勉強の必要がなく、高校学習内容へとスムーズに進むこと、各教科、知識と経験の豊富な先生方に

ご指導いただけることがその理由です。また自学道場があるおかげで仲間と一緒にがんばることができるので、ありがたく感じております。受験勉強をする高校生の姿を見て、自然に子供も勉強をがんばりたいと思っている様子です。勉強だけでなく体育祭や文化祭の行事も精一杯楽しむ子供たちを楽しみに見守りたいと思います。

●入学からあっという間の三年間でした。1年生の頃は毎月のように訪れるテストに追われ、毎日ヘトヘトになっていましたが、3年生にもなると子供自身が勉強のリズムを掴めるようになりました。計画的に自ら勉強している姿を見て、三年間の成長を感じると共に先生方の熱心な御指導があつてこそだと、大変感謝しております。保護者面談でも志望校の勉強方法や試験科目などを具体的にアドバイスして下さいました。高校入試を気にすることなく、大学入試に照準を合わせ、勉強の計画が立てられるのは中高一貫校ならではのメリットだと感じました。残り三年間、友人達と切磋琢磨しながら夢に向かって頑張りたいと思っています。

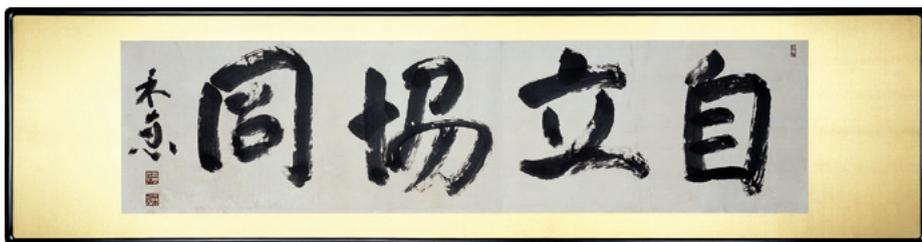
●あっという間の三年間でした。中高一貫の良さを十分に享受し、先取り学習で心に余裕を持たせているようでした。テスト前にはテスト範囲を網羅する一覧表を下さる学年もありました。友達同士誘いあつて自学道場で勉強しています。自宅よりも集中出来るようです。先輩の合格体験談や、社会に出てからの体験談等に刺激を受け、将来の理想像を描くようになりました。かと言って365日ずっと勉強に力を注げるかと言えばそうではありません。いいタイミングで個人面談があり、道が逸れないように修整して下さいます。

6年間を終えて

卒業生 保護者

●中学・高校六年間を文理ですごし、最もよかったと思うことは、高い志を持った友人たちと出会えたことです。彼らと切磋琢磨し大学受験に挑めたことは大きな力となりました。それに加え、先生方には熱心できめ細やかなご指導を頂き、求めれば必ず応えてくれ、子ども達の心の支えになっていました。また、6年生のための自習室には、朝早くから終わりまで必ず仲間がいて、すぐ近くで頑張る姿に鼓舞され、マイナス思考になりがちな時も負けずに頑張れたと思います。本当に素晴らしい友人、素晴らしい先生方のおかげで充実した中学・高校生活を送ることができ、良い結果を出す事ができました。心より感謝申し上げます。

学園の歩み 129年の伝統と信頼



創立者 村崎 サイ

学祖村崎サイ先生は、女性の自立を目指して、1895(明治28)年学園を創立しました。

その「自立協同」の建学の精神を一貫して受け継ぎ、徳島文理中学校・高等学校は進学指導を中核に品位と知性に富む心豊かな人格の形成を目指しています。

また21世紀をリードする国際人を養成するため、科学精神と言語能力の向上に力を注ぎ、海外交流校との親善訪問など国際理解教育に努めながら、各自の多様な能力や資質を十分に発揮できるように教育内容を設定しています。



第2代理事長 村崎 凡人



前理事長 村崎 正人



学園の沿革 1895～2024

- 1895 (明治 28 年) **村崎サイ先生が「女性の自立」を建学の精神として学園創立**
- 1924 (大正 13 年) 徳島女子職業学校併置
- 1944 (昭和 19 年) 村崎女子商業学校認可
- 1948 (昭和 23 年) 村崎女子高等学校と改称
- 1958 (昭和 33 年) 徳島女子高等学校と改称
- 1961 (昭和 36 年) 徳島女子短期大学開設
- 1966 (昭和 41 年) 徳島女子大学開設 家政学部設置
- 1968 (昭和 43 年) 音楽学部設置
- 1972 (昭和 47 年) 徳島文理大学と改称 薬学部設置
- 1973 (昭和 48 年) 徳島文理大学附属幼稚園開設
- 1975 (昭和 50 年) **徳島文理大学附属中学校開設**
音楽専攻科設置
- 1976 (昭和 51 年) **徳島女子高等学校を徳島文理高等学校と改称**
徳島文理大学附属中学校を徳島文理中学校と改称
- 1979 (昭和 54 年) 大学院薬学研究科〔修士課程〕設置
- 1980 (昭和 55 年) **北京師範大学第二附属中学（師大二附中）との交流始まる**
- 1981 (昭和 56 年) **師大二附中と姉妹校提携**
大学院薬学研究科〔博士課程〕設置
- 1983 (昭和 58 年) 香川キャンパスを開学 文学部設置
- 1984 (昭和 59 年) 徳島文理小学校開設
- 1985 (昭和 60 年) **学園創立 90 周年記念式典挙行**
- 1989 (平成元年) **師大二附中との姉妹校交流 10 周年記念行事**
工学部を香川キャンパスに設置

- 1992 (平成 4 年) 大学院文学研究科〔修士課程〕設置
- 1993 (平成 5 年) 大学院工学研究科〔修士課程〕設置
家政学専攻科設置
- 1994 (平成 6 年) 大学院文学研究科〔博士後期課程〕設置
- 1995 (平成 7 年) 大学院工学研究科〔博士後期課程〕設置
学園創立 100 周年記念式典挙行
- 1997 (平成 9 年) 大学院家政学研究科〔修士課程〕設置
- 1998 (平成 10 年) 大学院家政学研究科に児童学専攻、同業学研究科に医療薬学専攻開設
家政学部人間発達学科、文学部文化財学科、工学部環境システム工学科設置
- 1999 (平成 11 年) 大学院家政学研究科〔博士後期課程〕設置
短期大学部文科を言語コミュニケーション学科に改組転換
- 2000 (平成 12 年) **師大二附中との姉妹校交流 20 周年記念行事**
総合政策学部を徳島キャンパスに設置
学園創立 110 周年記念むらさきホール竣工
- 2002 (平成 14 年) 家政学部を人間生活学部へ改組転換
- 2003 (平成 15 年) 人間生活学部へ人間福祉学科 心理学を新設
- 2004 (平成 16 年) 工学部にナノ物質工学科を新設
専門職大学院総合政策研究科〔専門職学位課程〕設置
- 2005 (平成 17 年) 大学院香川薬学研究科〔博士課程〕設置
大学院工学研究科ナノ物質工学専攻〔博士課程〕設置
家政学研究科を人間生活学研究科に改称



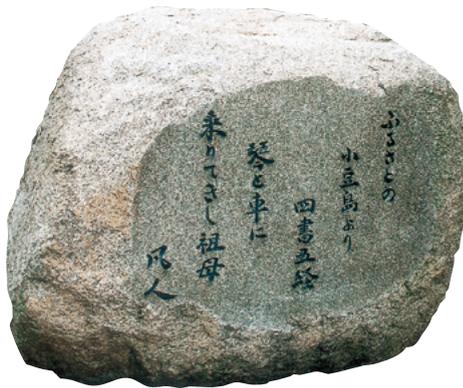
学園創立当時の校舎



3階建て木造校舎



2009年に本館新校舎完成



ふるさとの小豆島より四書五経 琴と車に乗りてきし祖母

村崎凡人前理事長歌碑のこの歌は、学祖村崎サイ先生が教員となり、徳島に学校を開校すべく、勉学に使った四書五経の本と、愛用の琴を携えて人力車に乗り、故郷小豆島を出発するときの立志を詠んだものである。

- | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>人間生活学研究科心理学専攻〔博士課程〕設置
家政学専攻科を人間生活学専攻科に改称
学園創立 110 周年記念式典挙
2006 (平成 18 年) 人間生活学部生活情報学科を人間生活学部メディアデザイン学科と改称
薬学部薬学科〈6 年制〉設置
香川薬学部薬学科〈6 年制〉設置
香川薬学部薬科学科〈4 年制〉設置
2007 (平成 19 年) メディアセンター・新薬学研究棟完成(徳島キャンパス)
工学部臨床工学科設置
人間福祉学部設置
2008 (平成 20 年) 徳島文理高等学校にスーパー・アカデミック SA (難関大学・学部) コース設置
人間福祉学部を保健福祉学部と改称
保健福祉学部看護学科設置
機械電子工学科を機械創造工学科と改称
情報システム工学科を電子情報工学科と改称
英米言語文化学科を英語英米文化学科と改称
2009 (平成 21 年) 徳島文理中学校・高等学校 本館新校舎完成
工学部を理工学部と改称
助産学専攻科設置
住居学科を建築デザイン学科と改称
中山医学大学と学術交流協定締結
高大連携校として新民高級中学校と協定締結
2010 (平成 22 年) 保健福祉学部理学療法学科設置</p> | <p>香川薬学研究科薬科学専攻〔修士課程〕設置
裏千家千宗室お家元をお招きし、茶室披き (一珠庵)
師大二附中との姉妹校交流 30 周年記念行事
2011 (平成 23 年) 高大連携校として高雄市立三民高級中学と協定締結
2012 (平成 24 年) 香川キャンパスに保健福祉学部設置
保健福祉学部診療放射線学科設置
臨床工学科を理工学部から保健福祉学部へ移行
薬学研究科薬学専攻博士課程 (4 年課程) 設置
2013 (平成 25 年) 廈門大学・水原大学校・水原科学大学と学術交流協定締結
高大連携校として康橋双語学校と協定締結
2014 (平成 26 年) 看護学研究科 (修士課程・徳島キャンパス) 設置
2015 (平成 27 年) 学園創立 120 周年記念 2 号館アカンサスホール完成 (徳島キャンパス)
学園創立 120 周年記念式典挙
徳島文理中学校・高等学校 ホームカミング開催
大学院看護学研究科看護学専攻 (博士課程・徳島キャンパス) 設置 / 大学院総合政策学研究科 (修士課程・徳島キャンパス) 設置
保健福祉学部口腔保健学科設置
2017 (平成 29 年) トレーニングセンター完成 (徳島キャンパス)
2019 (令和元年) 学園創立 125 周年記念式典
2020 (令和 2 年) 高松駅キャンパス起工式
2022 (令和 4 年) 高松駅キャンパス竣工式
2024 (令和 6 年)</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



理事長
村崎 文彦

1895（明治28）年、学園創立者・村崎サイ先生が「女性の自立」を唱え、村崎学園を創立され、2025年には130周年を迎えます。この間、本学園は「自立協同」の建学精神を掲げ、一貫して大学院生・学生・生徒・児童・園児のより良い将来のため、教育に貢献してまいりました。徳島文理中学校・高等学校では開学以来、徳島だけでなく、全国・世界で活躍される6108名の卒業生を輩出してまいりました。

私は理事長として、「自立協同」の建学精神・「照らし合いの精神」の二点を必ず生徒に伝えております。「自立協同」では、自立には他者からの協力や謙虚な姿勢が必要不可欠であること、「照らし合いの精神」では、卒業生が世界各地・様々な分野で本学の名を高めてくださると同様に、本学も常に一步上を目標に研鑽し、お互いを照らし合い、切磋琢磨していこうと伝えております。

女子への教育が必要ないとされた時代に、創立者村崎サイが「女も独り立ちができねばならぬ」と女性の自立を唱え開学したこと、裁縫の基礎基本を忠実に守るだけでなく、当時新しかった洋装も積極的に取り入れたことは、現在の言葉で言えば、ベンチャー精神旺盛な教育起業家であったと言えます。

我々も創立者村崎サイの思いを引き継ぎ、基礎基本となる知識の教授のみならず、より良い教育とは何かを常に自問自答し、みなさんのより良い将来のために全力を尽くしてまいります。

文理でよかった、文理だから出会えた、そのような場であり続けられるよう、我々教職員がみなさんを全力でサポートいたします。みなさんのより良い未来のために尽力する教職員、より高みを目指す先輩たち、世界で活躍する卒業生が本学で皆様を待っています。

ぜひ、本学とともに切磋琢磨してまいりましょう。



学校長
竹内 薫

中高6年間の継続的・系統的な指導によって生じるゆとりの中で、勉強や部活動、学校行事に積極的に取り組みましょう。高い志を持った友達と励まし合い、助け合いながら一緒に頑張りましょう。

本校の特色は先取り学習と習熟度別学級編制です。まず、6年間の内容を5年間で終え、最後の1年間で志望校に合格できるだけの確かな学力を付けます。次に、2年生からの習熟度別学級編制は、5年生から文系・理系に分かれ、難関、応用、発展とさらに細分化します。このようなきめ細かな指導によって皆さんのどのような進路希望も叶えます。

活躍する部活動を応援し、マイペースの楽しい部活動も奨励しています。各種大会、コンクール、文化祭などをめざして一緒に頑張りましょう。学年毎の研修旅行や体育祭、文化祭、オーストラリア語学研修などの学校行事は、中高時代のかげがえのない楽しい思い出となることでしょう。

学校生活全般に意欲的に取り組む中で大志が芽生え、育まれます。東大14人（理Ⅲ6人）、国公立大学医学科162人（徳大医83人）に代表される過去10年間の顕著な合格実績が、本校の優れた教育環境と皆さんの大きな可能性を保証しています。本校で皆さんの大きな夢を育みましょう。

来年度、村崎学園創立130周年記念ホームカミングを開催します。本校では、卒業後も10年毎に卒業生や教職員が集い、思い出や近況、抱負を語り合い、旧交をあたためています。文理中学高等学校を核として、同窓生や先輩、後輩、教職員が固い絆で結ばれ、さらにその絆が親から子へと受け継がれていく。そんな私立進学校として皆さんと共に成長し続けることを願っています。

生徒状況 出身都市別生徒数

(令和6年5月1日現在)

	中学校				高校				総数
	1	2	3	計	1	2	3	計	
県内計	80	90	106	276	106	86	113	305	581
県外計	0	4	4	8	1	0	4	5	13
総計	80	94	110	284	107	86	117	310	594
男子計	39	45	60	144	47	44	59	150	294
女子計	41	49	50	140	60	42	58	160	300
総計	80	94	110	284	107	86	117	310	594



教職員組織

(令和6年度)

理事長	村崎 文彦	国語	内藤 雄生	社会	大橋 雅利	国語(講師)	寺澤 康文	
校長	竹内 薫	理科	吉田 江里	保健体育	大久保芳純	理科(講師)	村田 和生	
学監	村崎 文彦		吉谷 篤志		仲岡 学	島田 洋二	数学(講師)	吉岡 隆徳
教頭	浜出 恵子		木田 文彦		島田 啓司	林 智行	情報(講師)	湯浅 真典
	山城 喜義		岡崎 壽		松村 啓司	玉田 晋作	技術(講師)	石川 功
英語	浜出 恵子	岡 美代司	林 智行	西田 凌介	音楽(講師)	高田亜紀代		
	大久保道弘	宮本 秀樹	玉田 晋作	古城 優	美術(講師)	鈴江早都子		
	秋田 泰弘	宮崎 威	西田 凌介	一楽 沙織	書道(講師)	花谷 弘子		
	上村 真一	樋口 磨汐	古城 優	柴山 寿徳	事務	澤田 正代		
	上村 治子	山城 喜義	一楽 沙織	中島美恵子	技師	山岡 綾		
	三ツ橋 悟	藤本 和夫	柴山 寿徳	安藝 敦子	スクールカウンセラー	河原 浩幸		
(ALT)	戸川 孝治	住友 正男	竹内 常晃	英語(講師)	角瀬 公子			
国語	高松 仁志	喜多 博文	吉成 泰代		国語(講師)	岸本いつみ		
	Yun Evelyn	糸林 祐紀	竹島慎一郎	太田 雅彦				
	手束 雅夫	村山 恵子	大川 克彦	原 誠吾				
	岡田 康男	徳元 隆	増田 智一					
立石 有礎	岡田 光弘							
善本 洋之	仲岡 宏紀							
村田 光	増田 智一							

令和7年度 徳島文理中学校 入学者選抜要項

1. 募集人員

第1学年 前期…男女150名 後期…男女30名

2. 応募資格

小学校を令和7年3月卒業見込みの者

3. 願書受付

*受付期間

前期	令和6年12月2日(月) ～12月13日(金) 必着
後期	令和7年1月16日(木) ～1月23日(木) 必着

*受付時間

9:00～16:00

※ただし、土曜日の午後と日曜日・祝日は除きます。

*受付場所

徳島文理中学校 〒770-8054 徳島市山城西4丁目20

*出願手続

提出書類……入学願書・写真票・受験票

入学検定料……20,000円

※受付期間以前にも振込はできません。

- 本校所定の入学願書・写真票(カラー)・受験票・振込依頼書・領収書の連票に所定事項を黒のボールペンで記入し、切り離さずに入学検定料を添えて、銀行または信用金庫・信用組合・農協の窓口に表示し、写真票と領収書に収納印をもらってください。
※ゆうちょ銀行からの振込はできません。
- 振込が終わったら、入学願書・写真票・受験票を所定の封筒に入れ、徳島文理中学校あてに郵送または持参してください。なお、振込時の領収書は大切に保管してください。前期は12月19日(木)までに、後期は1月24日(金)までに受験票が届かない場合は、徳島文理中学校まで連絡してください。
- いったん提出した書類および入学検定料などは返還できません。

注意 入学願書は徳島文理中学校、または学園本部で受け取ってください。郵送ご希望の方は、郵便番号・あて名を明記し、「中学願書請求」と朱書して請求してください。

4. 入学試験

*試験日

前期	令和6年12月27日(金)
後期	令和7年1月26日(日)

受験生は8時25分までに受付を済ませてください。

*試験場

徳島文理中学校 ※駐車できます。

*試験科目

国語・算数

*試験日程

8:00～8:25	受付
8:30～	諸注意
9:00～10:00	国語
10:15～11:15	算数
11:50～	面接

注意 1. 当日は次のものを持参してください(上履きは必要ありません)。

- ①受験票
- ②通知表のコピー (6年生2学期末・2学期制の場合は1学期末すべての面がわかるように)。
- ③筆記用具 鉛筆(シャープペンシルも可)・消しゴム・コンパス・定規(三角定規も可)
- ④時計 ※ただし、分度器付きの定規・計算機付きの時計・携帯電話等必要のないものは持ち込めません。

2. 面接は受験生のための個人面接(5分程度)です。

5. 合否結果通知

前期	令和6年12月29日(日)
後期	令和7年1月28日(火)

受験生に合否の通知書を郵送します。電話による合否についての問い合わせにはお答えできません。

6. 合格者説明会

*日時

前期	1月4日(土) 午前10時から
後期	2月1日(土) 午後2時から

*会場

徳島文理中学校

7. 入学手続き

*手続き期間

前期	1月10日(金) 午後2時まで
後期	2月7日(金) 午後2時まで

入学金などを所定の用紙により納入してください。

*納入費用

入 学 金……200,000円

保護者会入会金…… 3,000円

※期日までに納入がない場合は、入学を辞退したものとみなします。

※いったん納入した入学金などは返還できません。

8. 入学式

令和7年4月7日(月)

9. 入学後毎月納入する費用 寄付金・学債はありません

授 業 料	40,000円
施設設備費	17,000円
図 書 費	400円
校 友 会 費	200円
体育後援会費	200円
保護者会費	200円
合 計	58,000円

転入試験について

- ・ 試 験 日……令和6年7月13日(土)
- ・ 試 験 科 目……国語・数学・英語
- ・ 願 書 受 付……令和6年7月4日(木)
～7月10日(水)
- ・ 合格者発表……本人あて通知
- ・ 手続き締切……令和6年7月19日(金)

- ・ 試 験 日……令和6年11月30日(土)
- ・ 試 験 科 目……国語・数学・英語
- ・ 願 書 受 付……令和6年11月22日(金)～11月28日(木)
- ・ 合格者発表……本人あて通知
- ・ 手続き締切……令和6年12月6日(金)

- ・ 試 験 日……令和7年3月8日(土)
- ・ 試 験 科 目……国語・数学・英語
- ・ 願 書 受 付……令和7年2月25日(火)～3月4日(火)
- ・ 合格者発表……本人あて通知
- ・ 手続き締切……令和7年3月14日(金)

●上記以外の事項については、
入試広報室・☎(088)626-1225にお問い合わせください。

オープンスクール・学校説明会

開催日：令和6年7月6日(土)
日 程：12：00～ オープンスクール
13：00～ 学校説明会
15：30～ 個別相談会(希望者)

入試説明会・授業体験

開催日：令和6年10月5日(土)
日 程：14：00～ 開会の挨拶
入試問題講習会(合格答案の書き方)
授業体験
16：30～ 個別相談会(希望者)

開催場所：徳島文理中学校・高等学校(駐車できます) ※進路相談・学校見学 随時受け付けています。

出願から入学手続きまでの会場は徳島文理中学校・徳島文理高等学校になっています(中高共通です)

出願
手続き

試験場

合格者
説明会

入学
手続き

徳島文理中学校・徳島文理高等学校

〒770-8054 徳島市山城西4丁目20 ☎(088)626-1225(代)

令和7年度 徳島文理高等学校 入学者選抜要項

1. 募集人員

男女 300 名（徳島文理中学校出身者を含む）
【推薦選抜】専願（若干名）
【一般選抜】専願・併願

2. 応募資格

中学校を令和7年3月卒業見込みの者

3. 推薦選抜出願要件 次のいずれかに該当する者

*要件Ⅰ

学校長が成績優秀で本校にふさわしい意欲的な人物であると認め推薦する者。原則として中学校3年間の国語等5教科の評定平均値が4.5以上の者。

*要件Ⅱ

「男女剣道」（若干名）原則として県大会団体ベスト8以上のレギュラー選手、個人ベスト32以上の者。学校長が成績・人物ともに優秀で本校にふさわしいと認め推薦し、中学校3年間の国語等5教科の評定平均値が要件Ⅰに準ずる者。

4. 願書受付

*受付期間

推薦選抜	令和6年12月16日(月) ～12月20日(金) 必着
一般選抜	令和7年1月8日(水) ～1月15日(水) 必着

*受付時間

9:00～16:00 ※ただし、土曜日の午後と日曜日・祝日は除きます。

*受付場所

徳島文理高等学校 〒770-8054 徳島市山城西4丁目20

*出願手続

提出書類…【推薦選抜】入学願書・写真票・受験票、
推薦書・調査書
【一般選抜】入学願書・写真票・受験票

入学検定料……20,000円

※受付期間以前にも振込はできません。

●本校所定の入学願書・写真票（カラー）・受験票・振込依頼書・領収書の連票に所定事項を黒のボールペンで記入し、切り離さずに入学検定料を添えて、銀行または信用金庫・信用組合・農協の窓口で提示し、写真票と領収書に収納印をもらってください。

※ゆうちょ銀行からの振込はできません。

●振込が終わったら、入学願書・写真票・受験票を所定の封筒に入れ、徳島文理高等学校あてに郵送または持参してください。推薦選抜については、推薦書・調査書を中学校で記入してもらい、厳封したものを同封してください。なお、振込時の領収書は大切に保管してください。推薦選抜は1月3日(金)までに、一般選抜は1月17日(金)までに受験票が届かない場合は、徳島文理高等学校まで連絡してください。

●いったん提出した書類および入学検定料などは返還できません。

注意 入学願書は徳島文理高等学校、または学園本部で受け取ってください。郵送ご希望の方は、郵便番号・あて名を明記し、「入学願書請求」と朱書して請求してください。

5. 入学試験

*試験日

推薦選抜	令和7年1月7日(火)
一般選抜	令和7年1月18日(土)

受験生は8時25分までに受付を済ませてください。

*試験場

徳島文理高等学校 ※駐車できません。

*試験科目

【推薦選抜】作文

【一般選抜】国語・数学・英語

*試験日程

【推薦選抜】	8:00～8:25	受付
	8:30～	諸注意
	9:00～10:00	作文
	10:20～	面接
【一般選抜】	8:00～8:25	受付
	8:30～	諸注意
	9:00～10:00	国語
	10:15～11:15	数学
	11:30～12:30	英語
		※昼食…各自でご用意ください。
	13:20～	面接

注意 1. 当日は次のものを持参してください（上履きは必要ありません）。

- ①受験票
- ②通知表のコピー（3年生2学期末・2学期制の場合は1学期末）
すべての面がわかるように。 ※推薦選抜は不要です。
- ③筆記用具 鉛筆（シャープペンシルも可）・消しゴム・コンパス・
定規（三角定規も可）
※推薦選抜は鉛筆（シャープペンシルも可）・消しゴム
- ④時計 ※ただし、分度器付きの定規・計算機付きの時計・携帯電話
等必要のないものは持ち込めません。

2. 面接は受験生のための個人面接（5分程度）です。

6. 合否結果通知

推薦選抜	令和7年1月9日(木)
一般選抜	令和7年1月21日(火)

受験生に合否の通知書を郵送します。電話による合否についての問い合わせにはお答えできません。

7. 合格者説明会

*日時

推薦選抜	1月11日(土) 午後2時から
一般選抜	1月25日(土) 午後2時から

*会場

徳島文理高等学校

8. 入学手続き

*手続き期間

推薦選抜	1月17日(金) 午後2時まで
一般選抜	1月30日(木) 午後2時まで

入学金などを所定の用紙により納入してください。

*納入費用

入 学 金……………200,000 円

保護者会入会金…………… 3,000 円

※期日までに納入がない場合は、入学を辞退したものとみなします。

※いったん納入した入学金などは返還できません。

9. 入学式

令和7年4月7日(月)

10. 入学後毎月納入する費用 寄付金・学債はありません

授 業 料	40,000 円
施設設備費	17,000 円
図 書 費	400 円
校 友 会 費	200 円
体育後援会費	200 円
保護者会費	200 円
合 計	58,000 円

注意 私立高校授業料実質無償化

- ・年収590万円未満の世帯 授業料全額48万円(年額)
 - ・年収750万円未満の世帯 授業料半額24万円(年額)
 - ・年収910万円未満の世帯 授業料118,800円(年額)
- 支給されます。

※高等学校等就学支援制度を利用するには申請が必要です。申請等については、入学後の案内をご確認ください。

転入試験について

- ・試 験 日……………令和6年7月13日(土)
- ・試 験 科 目……………国語・数学・英語
- ・願 書 受 付……………令和6年7月4日(木)
～7月10日(水)

- ・合格者発表……………本人あて通知
- ・手続き締切……………令和6年7月19日(金)

- ・試 験 日……………令和6年11月30日(土)
- ・試 験 科 目……………国語・数学・英語
- ・願 書 受 付……………令和6年11月22日(金)～11月28日(木)
- ・合格者発表……………本人あて通知
- ・手続き締切……………令和6年12月6日(金)

- ・試 験 日……………令和7年3月8日(土)
- ・試 験 科 目……………国語・数学・英語
- ・願 書 受 付……………令和7年2月25日(火)～3月4日(火)
- ・合格者発表……………本人あて通知
- ・手続き締切……………令和7年3月14日(金)

●上記以外の事項については、
入試広報室・☎(088)626-1225にお問い合わせください。

●出願から入学手続きまでの会場は徳島文理中学校・徳島文理高等学校になっています(中高共通です)。

